

マラッカのサイバニクス医療センター、22日に開所式

Cyberdyne 株式会社(本社：茨城県つくば市)(サイバーダイナ社)は 2019 年 1 月 21 日に、マラッカ州にある被雇用者社会保障機構(Social Security Organisation (SOCSO/PERKESO))傘下の SOCSO リハビリテーションセンター(Pusat Rehabilitasi PERKESO Tun Abdul Razak)内で、医療用 HAL を用いた機能再生医療を行うサイバニクス医療センターの開所式が 22 日に開催されると発表した。

同センターでは、2018 年 11 月にサイバーダイナ社の革新的ロボット治療機器である HAL 医療用下肢タイプ(医療用 HAL)およびその他の HAL(単関節や腰タイプ)が導入された。サイバーダイナ社は、医療用 HAL 教育で SOCSO と連携している。同センターは、労働災害により障害を患ってしまった被雇用者に対し、最先端の技術や設備を用いて、社会復帰や自立度の向上を支援する施設である。

今回の HAL の導入により、脊髄損傷、脳卒中、外傷性脳損傷、多発性硬化症など、脳、神経、筋系の疾患患者に対して、医療用 HAL を用いたサイバニクス治療の運用が行われる。

サイバーダイナ社では、同センターへの導入を契機に、今後はマレーシアおよびその他のアジア太平洋(APAC)地域の医療機関へのサイバニクス治療の普及を進めていく予定である。

マレーシアのハラール産業、東京五輪はチャンス

マレーシアは、2020 年の東京オリンピック開催中に 3 億米ドルのハラール市場を確保することを目標としている。

起業家開発省モハマド・レズアン大臣が、日本の企業はマレーシアの健康・美容部門や食品飲料部門において深い関心を示していると述べた。また日本は 10 年前と比べるとハラール市場に対してよりオープンとなり、マレーシアの中小企業がこのチャンスを掴まなければ、大きな損失になると 1 月 24 日に開催された「マレーシア・ハラール・エキスポ 2019」の開会後に述べた。

この「マレーシア・ハラール・エキスポ 2019」では 320 社が出展しているが、そのうち 10 社以上が対日輸出を行っており、残りは準備段階であるという。

対日ハラール製品輸出額は、2017 年には 28 億リングgitであったが、2018 年は 31 億リングgit、2019 年には 34 億リングgit、2020 年には 37 億リングgitになると見込んでいる。

この展示会中に行なわれる商談会において 5,000 万リングgitの成約を見込んでいる。24 日までに 27 社が 32 件の商談会を行い、成約額はすでに 4,080 万リングgitに上った。

この商談会にはマレーシア企業からは五大企業 Lulu Group Retails Sdn Bhd(ルル・グループ)、Ramly Halal Mart Sdn Bhd(ラムリ・ハラール・マート)、Aeon Big (M) Sdn Bhd(イオンビッグ)、Nestle Malaysia Bhd(ネススル)、Tesco Stores (Malaysia) Sdn Bhd(テスコ)が参加した。

リム財務相らが訪日、サムライ債をプロモーション

Lim Guan Eng 財務大臣(リム財務大臣)は、2月6日から3日間の日程で、日本政府の要人や投資家らと意見を交わすために訪日した。Datuk Ahmad Badri Mohd Zahir(ダト・アフマッド・バズリ)財務事務総長、Datuk Siti Zauyah Md Desa(ダト・シティ・ザウヤ)財務事務次官、マレーシア中央銀行の Marzunisham Omar(マルズニシャム)副総裁ら、20名からなる政府代表団も同行した。

今回の目的は、最大2,000億円の円建外債(サムライ債)で安定した高い可能性を持った投資先としてマレーシアをプロモーションすることであった。これはサムライ債の引受先である大和証券(マレーシアの Affin Hwang Investment Bhd と共同)、HSBC 銀行、みずほ銀行が主催した。

マリンドエア、KL-札幌線を就航

日本の国土交通省は2月15日、ハイブリッド航空会社 Malindo Air(マリンドエア)からのクアラルンプール-新千歳空港(札幌)線の外国人国際航空運送事業の経営許可申請を、同日付で許可したと明らかにした。マリンドエアの日本の乗り入れは初めてとなる。

それを受けてマリンドエアは2月18日に、3月23日より北海道への新サービスを開始すると発表した。

クアラルンプールから火、水、土曜日の週3回運航する。運航スケジュールは、札幌行き(OD0888便)がクアラルンプール国際空港を午前7時40分に出発し、台北に午後12時30分到着。台湾発午後1時45分、千歳空港に午後6時20分の到着となる。クアラルンプール行き(OD0889便)は、札幌発午後7時20分、台北着午後11時。台北発が翌日午前0時5分で、クアラルンプールには午前4時55分に到着となる。

使用機材はボーイング737-800でビジネスクラス12席、エコノミークラス150席からなる。